

動物と向き合う

9/20~9/26 は動物愛護週間。たくさんの動物たちと向き合ってきた著者らが、それぞれの切口で動物たちの生態や生命の神秘を伝えてくれる、そんな図書を集めてみました。



『生きものがつくる美しい家』
鈴木まもる 著
481.7/SU

環境に合わせて生きものたちがつくる巧みな家 121 種類を紹介



『動物たちは何をしゃべっているのか?』
山極寿一ほか 著
481.78/YA

「鳥になった研究者とゴリラになった研究者」(本文2p) が言語をテーマに対談



『動物の読み薬』
新宅広二 著
480/SH

現代人の悩みに対して、動物ならどうするか? 処方箋を出す形でユニークな動物の生態を紹介する



『生きるよドンドン』
畑正憲 著
914.6/HA

自然と動物をこよなく愛し、「ムツゴロウ」の愛称で親しまれた著者が遺したメッセージ

図書館サークル メンバーおススメの本



経営情報科
デザイン・アートコース
1年 監崎 咲良 さん

『モノレールねこ』
加納朋子 著
913.6/KA

この物語は、猫の首輪に手紙を挟んで文通する事から始まります。しかしある日、猫は事故によって亡くなってしまいます。ですが、ここから猫と出会ったことによって起こる主人公や周りの変化が優しく軽やかに書かれています。時折、思い現実も組み込まれていますが、だからこそ読んでいて胸が熱くなります。この作品は短篇集で読みやすいのに、とても満足感があるので、軽い気持ちでぜひ手に取って頂きたいです!



経営情報科
デザイン・アートコース
1年 藤原 紗那 さん

『11ぴきのねこ』
馬場のぼる 著
726.6/BA

私が紹介する本は、『11ぴきのねこ』という絵本です。みなさん一度は聞いたことのある有名な絵本ではないでしょうか。「11ぴきのねこ」シリーズは全部で6作品あります。1作目は今から50年以上前の、1967年に発刊され、今でも人気の作品です。ねこたちの、のんびり、ほんわかした雰囲気や、みんなで一致団結し作戦を立てる姿は、見ていてほっこりします。まだ読んでいない人は、ぜひ読んでみてください!

2023年 9月 開館予定表

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

…開館日 …閉館日 (館内整理日・学内行事日等) …休館日

開館時間…9:00~17:00 臨時の休館・時間変更等はHP等でお知らせします。

附属図書館オリジナル Web 香川短大HP→附属図書館→附属図書館オリジナルWeb

<http://lib.kjc.ac.jp/csp/car/in/hp/CARhpTOP.csp>

新着図書



『自分の意見ってどうつくるの?』
平山美希 著
130/HI



『ハンチバック』
市川沙央 著
913.6/IC



『女子が一生食べていける仕事選び』
上田晶美 著
366.38/UE



『新入社員、会議についていけません』
うのき 著
335/SH



『すべての子どもの権利を実現するインクルーシブ保育へ』
芦澤清音ほか 著
378/SU